

第8回 「豊田市消防ビジョン～第4次豊田市消防整備基本計画～（案）」に関するアンケート

実施期間：8月15日（木）～8月24日（土）

回答者数：186人

【1】豊田市の消防・救急体制について関心をお持ちですか？

関心がある	66
どちらかと言えば関心がある	101
どちらかと言えば関心がない	18
関心がない	1

【2】豊田市の消防・救急体制に対する満足度をお聞かせください。

満足度は高い	26
どちらかと言えば満足度は高い	87
どちらかと言えば満足度は低い	3
満足度は低い	0
分からない	70

【3】どのようなことに満足していないかご意見をお聞かせください。

夜間や早朝に救急車のサイレンで家族が起こされることが多い。
どんな仕組みになっているのか、周知されていない。
発信が少ない。
滞りなく業務を行っているので。

【4】豊田市の消防・救急体制において、更に力を入れるべきだと思う事項を教えてください。【複数選択可】

全国で発生しているような自然災害（大規模地震や土砂・風水害等）への対策	117
高齢化の進展などにより増加が見込まれている救急需要への対策	89
火災による高齢者の死者数を減らすこと	22
地域防災力の中核を担う消防団員を確保すること	38
施設（消防署など）、水利（消火栓など）、消防車両及び人員（消防職員や消防団員）などの整備	62
災害対応体制を万全にするために消防職員の職場環境の整備	69

その他

消防、救急に関わる人材の確保と賃金上昇、カスハラ対応、メンタルのケアなど
「消防職員の職場環境」の現状がわかりません。環境の整備といわれても回答できない
救急・消防以外に隊員の具体的な仕事が見えないのでわからない
山間部での救急への応需
一般の人も体験できる活動教室

救急車のタクシー利用のような利用者に有料化してよいと思う。担当医師判断で、明らかに救急車利用するような症例でなければ、大病院へ紹介状無し受診と同様に救急利用料〇円を追加徴収していいと思う。某市のような入院じゃないと〇円では、熱中症など緊急性が高いが点滴など数時間後に帰宅する際などに救急車を呼ぶ事を躊躇ってしまうので、入院じゃなくても緊急性が高ければ追加料金は無しだが、ちょっと腰が痛い・風邪気味など救急車の必要性が無い者はもっと厳しく対応してよいと思う。(私も家族も医療従事者としての意見です)

【5】 豊田市の「消防力」について、最も整備してほしい事項は何ですか？

消防職員（人数や質の向上）	81
消防団員（人数や質の向上）	24
施設（消防署）	19
消防車両（消防車や救急車）	39
消防水利（消火栓や防火水槽）	18

その他

消防職員の賃金や働きやすい環境の整備
何が不足しているかわかりません
何が増えるとどう変わるかが分からないので回答できない。例えば、車両を増やせば出動回数を増やせるのか、車両が増えても今の人員では使いこなせないのか、また専門車両があっても人員の質が向上しなければ意味がないのか、ということが分からないので、1つ選ぶということが不可。
高齢者に対するの救助設備は、必要性を感じるが、その他はない
わからない

【6】 将来消防像「ミライへつなく 安心して暮らせる消防力のあるまち」について、どう思いますか？

分かりやすい	35
どちらかと言えば分かりやすい	110
どちらかと言えば分かりにくい	14
分かりにくい	7
分からない	20

【7】 どのような点が分かりにくいかご意見をお聞かせください。

未来へつなく が消防と結びつかずわかりにくい
ミライへつなく・スローガンが言葉として弱い、また消防力とは、どんな意味か不明
豊田市では「ミライ」という言葉を多用しますが、そもそもこれが分かりにくい。
「めざすまちの姿」は、同じ内容を別の表現で5つ並列しただけで具体的な姿は見えない。
込められた思いが伝わらない
記載されている内容が抽象的すぎて、具体的に何がどう変わるのかが分かりにくい。
消防力という言葉をふだん使わないから、ピンとこない。
まず直リンクを貼っていない事。コピペして見に行く必要がある。
消防団員にも育児休暇等必要と思うが、その取得率などと言われると普通の事務職とは違うのであり、多少の齟齬はあって仕方ないと思う。休暇を取得しにくいところをフォローするというのはわかるが普通に休んで救急対応ができるのかと、その使命感のやり場はどうするのかと思う。

具体的に何をするのがわかりにくかったです
比較の対象が無い。他市との比較など。
現実的に身近で消防に関わることが少ないので、現実性が少ないです。
イメージのみですね
「消防力」という言葉が普段聞きなれないので、初見で見た人は何を意味しているのかわかりにくいのではないかと思います
もっともですが内容が不明
具体的に
消防力が良くわからない
消防力がある、とは何を指しているのかわかりにくく、範囲が広く抽象的で具体的なイメージが浮かばない。
消防力という言葉がピンとこない
少し長いと感じる「安心して暮らせる」は無くてもいいのでは。
消防力というのがどういうものかわからない

【8】 その他、本計画（概要版）についてご意見がありましたらお聞かせください。

概要版しか見ていないので恐縮ですが、計画に記載されている予算が、実際の整備に必要な金額を満たしていない可能性はないでしょうか。過疎化等の人口の変動によって、消防隊員の配置が地域ごとの需要に応じなくなる可能性はないでしょうか。気象変動が大きくなり、想定している以上の災害が起り、実際の緊急事態に対応できない可能性はないでしょうか。
住民の安全・安心を守ってくれる消防署や消防団などは重要な職務。 その職員や団員がいざという時動きやすい体制が必要かなと思います。
男女問わず若者が入りたいと思う消防団ができればいいです。 大学のサークルのように気軽に、でも本質から外れることのないよう取組むことで、身近に消防に触れる人材と機会を増やせるといいかなと思いました。
目標の設定時期が2040年になっているのは、どのような経緯で決めているのかわからなかった。 また、消防隊員や消防団員の具体的な目標設定値がなく、適切な対応できると記入している点もわからなかった。 背景として人口問題、消防団員の減少がなどあることは理解しています。また、技術の進歩・GXなどで少人数での活動が進むとの考え方もあるので、そうなっているのかと推測してます。 先日の南海トラフ騒動があり、スーパーの水が一時無くなりました。各家庭での非常食対応などバラツキがあると思われ、公的な備蓄はどうなっているのかと思いました。もしもの時には、一部地域の問題ではないので、他の都道府県、特に近隣県・市などとの連携も重要と感じます。
炎天下でも地域のお祭りや市の大規模イベント等にも対応していただき、安全に過ごすことができることを感謝しています。 人材不足解消のためにも、賃金上昇やメンタルヘルス対応など仕事のモチベーションがアップするようなバックアップがあれば、やりがいのある仕事として続けられるのでは?と思いました。
消防の計画が理解しにくい。市民にとって大切な行政であるが、市民の大多数が身近に感じていないと思う。 例えば、各地域でのイベントに積極的に参加していくなど、説明を尽くすことが必要。 地域の消防に対する取り組みが、大切なのに、啓蒙活動が不足していると思う。 実際に消火器の使い方の説明や、操作してみることができる場所があれば良い。

<p>高度で質の高い人材育成の成果指標が高度で専門的な教育訓練の受講数（消防職員一人あたり）となっているが受講数だけではなく、質の向上も（教育訓練の理解度・習得度）考慮下さい</p>
<p>概要版しか見ませんでした。現状は定量的ですが2040年に向けた考え方は定性的過ぎる（理想と数字が有っても良いと思います）。計画と言えないのではありませんか？</p>
<p>1. 救急出動件数と搬送人員の増加傾向が、高齢化の進展や気候変動の影響による増加を上回っているような気がする。巷間で話題になっているような目的外利用が増えているのではないだろうか。</p> <p>2. 消防団については、防災対応などは無理だと思う。相当以前から明らかになっていることでもあり、「消防」からは完全に分離すべき問題だと思う。</p>
<p>素直な気持ちとして、相当に先のことであり現在の自分の知能では、はっきりとした意見が出ません。</p>
<p>全ての人が理解出来るか疑問</p>
<p>人員を確保するために何をするのが不明確。具体的な対策を提示した上での計画が知りたい。</p>
<p>大変だとは思いますが頑張ってください</p>
<p>2040年には自分も定年間近で、自分の老後・成人するこどもの生活へと意識を変えていく時期のため立場が変わる時期について考えることができると思った。</p> <p>目指すべき消防力のページで2040年までにどのような形にしたいか、現在はどの状態かが定量的に表現されていて良かった。消防車両数は今まで意識したこともなかった。</p>
<p>少子化になるとこのようなお仕事を支えるひとの数も減ってしまうのではないかと危機感があります。家族が数回救急車で運ばれた時、隊員さんの適切な処置で助かりました。その活躍を見た若いひとが参加し、後世に続くように活動してほしいです。</p>
<p>生産人口減少老年人口増加消防団員平均年齢上昇認識する事が出来ました</p> <p>市民みんな防火に取組み住宅から火災1件も発生させない大切さが重要</p> <p>高齢者への日頃の声かけ福祉事業との連携の強化これからも市民みんなで地域を守り安心安全な生活を真摯に努めるべきと思います</p>
<p>概要版だからかもしれませんが、最後のページについては、理解しにくく感じました。</p>
<p>消防のありがたみは、平時にはなかなか実感できないが、自然災害の甚大化が叫ばれる今、将来を見据えた消防力の強化を、計画的に進めるべきと強く思います。</p>
<p>特になし。</p>
<p>消防の方々、この夏は特にお忙しいと思います。</p> <p>いつも本当にありがとうございます。</p>
<p>特に意味</p>
<p>消防団員が減少傾向にあること、年齢も上昇傾向にあることを読みました。現在のわたしたちを取り巻く環境では、致し方ないとも思いますが、市民、特に若い人にとって消防団員が敷居が低いものになるといいと思いました。そのためには、男性でも育児休暇を取得できる環境にあることや、民間会社にあるようなデジタル化がすすんでいることが必要な、と思いました。また、そのことを、アピールして市民に知ってもらうことも必要だと思いました。広報とよたへの掲載、各種イベントの実施等で、身近に感じてもらえるといいのですが・・・また、団員になることで、幅広い世代と知り合うことが出来て、人脈が増えること、心が豊かになること等、団員としてのメリットというよりも、人としてのメリットについてアピールすることも大切かな、と思いました。昨年、地域の駅伝大会に消防団員の方が参加されていたのですが、その時の団員の方々の生き生きとした感じがとても素敵で、それを近くで見ている駅伝大会の参加者たちは、とても刺激になっているように感じました。子供たちの憧れの的存在になると、将来、団員になる人も増えるのでは？</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・(3)めざす消防力の欄に現状値と考え方が書いてあるが、数値だけ書かれていてもその数値が優れているのか劣っているのかわからない。 ・前期実践計画の施策・取組事業について、施策と取組事業がどのように結びつくのかわからない。例えば、「消防団員の確保」に対する取組で、「女性団員の活躍推進」は分かるが、「機能別団員制度の拡充」を行ったことでなぜ消防団員の確保につながるのか、分かりにくい。 ・全体的に、もう少し市民にとって何がどのように変わるのかを具体的に示してほしいと思いました。
特になし
<p>火災は防げるものだと思うのでもっともっと予防に力を入れると良い 人数だけを増やすのではなく力になる消防団員を増やす努力が必要 いまだに幽霊団員が多くいる</p>
抽象的過ぎでわかりにくい。やさしい日本語で書いて欲しい。お役所言葉は読みづらい。
<p>消防力が不十分であると安心して生活出来ないので、計画をぜひ実行して欲しい。人員の確保の為に、どんな関わりが出来るのか広く市民に伝えて欲しい。消防団というと体格のいい選ばれた人にしか出来ないイメージがあるが、女性も活躍できるしどんな職種があるのかアピールすればより多くの方がチャレンジすると思う。</p>
<p>消防署の皆さんには日頃から万が一に備えての訓練ご苦労さまです。そしてありがとうございます。これからも安心して暮らせる今まで通りの消防力を期待しています。</p>
<p>これから若者の人口が減り消防職員の数も減ってくる中で自分のことは自分で守れるように市民ひとりひとりの防災意識を高めること、市としてはその啓発活動も大事だと思います。</p>
もっと具体的な施策を打ち出すべきである。
<p>社会人だと仕事が忙しくて参加しなくなるので、学生のうちから活動に参加したい人を各学校で募る。</p>
<p>消防団の仕事は大変だと思いますが、私達は助かっています。ありがとう 救急車で搬送されたことがあります。救急隊員の丁寧な対応にありがたく思っています これからも患者に寄り添って安心できる救急隊員でいてもらいたいです。</p>
若手の育成が必要
<p>全市民に対して火事を出さない啓蒙活動を行う事が大切。</p>
<p>救急車を依頼したことは何度かあります。いつも丁寧に対応していただき感謝しています。救急隊員の不足や救急依頼が多くなって、大変だと聞きます。有料になるところがあるとも聞きます。有料になるのも仕方ないことかなと思います。本当に命の危険な人を助けるために、救急車を依頼するか判断に迷う人は事前に相談できる電話番号を全世帯に普及させるべきだと思います。また、救急や消防職員の待遇をよくして、安全で働きやすい組織にしてほしいです。</p>
とくになし
特になし
<p>先日、消防署にて色々体験してきました。そこで、特に地震の怖さを知りました。帰宅後、数日で大地震注意報がでましたので、直ぐに防災の事を考え、自分に出来る限りのことをしております。疑似体験は、全ての人を経験すると良いと思いますので、是非、呼びかけを沢山して頂きたいと思います。</p>

<p>少子高齢化と消防力もつながっていると感ずます。</p> <p>望まない孤独や孤立という課題は地域だけでなく社会全体の課題と思ひます。</p> <p>それぞれの境遇が認められ、誰ひとり取り残さない社会</p> <p>お互い様 感謝の心がいつもあれば世界は平和になると思ひます</p> <p>苦しんでいたり困っていてもなかなかうまく声をあげられない人もいて</p> <p>家庭環境等の背景等</p> <p>必要な場所にちゃんと手が差しのべられる誰もが幸せを感じられる社会を望みます</p>
<p>理想は理解できたが、実現性がどのくらいあるのか疑問。</p> <p>ボランティアに頼るには限界がある。</p>
<p>特になし</p>
<p>消防団の存在意義がわかりにくいです。</p>
<p>災害を未然に防ぐ対応策を周知し消防のパワーを軽減出来るような活動を期待している。</p>
<p>実態が市民にはわかりにくい。</p>
<p>高齢者が、多いことを思うと消防力おおきいにこしたことは、ないとおもう</p>
<p>報酬の低さ、職場の無理解等、そもそも消防団に参加する動機付けが旧態依然としたままでは消防団員の減少は食い止められないと感じる。</p>
<p>各地の自然災害時にも、消防は要で頼りにしています。市民、地域も協力しながら災害に強い街に豊田がなれば良いと思ひます。</p>
<p>少子化のツケがあらゆる所で出てきて深刻な問題になっている事を知りました。</p> <p>以前TVで、育児中のママさんが臨時救急隊員？のような短時間の勤務で復帰されている紹介がありました。</p> <p>以前であれば、両立が難しい勤務で退職されていたのが、各家庭の生活の合わせて少しずつ柔軟に対応出来るように色々な所でなっているようなので、男女共に子育てしやすい職場環境で細く長く途切れる事なく働けると良いのかと感じました。</p>
<p>子供や周りの方が呼吸困難になり救急車を呼んだことがあるが、病院に運ばれた時には落ち着いた事があり、どのタイミングで呼んだ方が良いか迷うことがある。</p> <p>こちらとしては、緊急と思うが、医療従事者の方側からみるとそうではなさそうな事もあり、救急車を呼ぶ前に豊田24時コールに電話をかけて判断の相談もした事があるが、上手く伝えられない事もある。</p> <p>ビデオ電話での問い合わせが出来るようになれば、より良いのかなと思ひます。</p> <p>あとは、高齢者の方が寂しくて…、1人暮らしで心配になって…、とニュースなどで聞いた事もあるので、担当の方に繋がります…という形で相談窓口などに転送出来たりすれば、救急系の負担が減るのかなあ？と思ひます。</p> <p>一般市民の私達よりもまずは、現場の方達に細かなアンケートなどを取り、声を聞くのが1番だと思ひます。</p>
<p>救助体制等については、公共施設、職員に頼るのではなく、まずは自分たちが自分たちの手で最高にできる処置等を学ばせることが大事だと思う。そしてその人たちを地域に配置するのではなく、地域方々を育成するような取り組みが欲しい。</p>